名古屋市量子産業創出寄附研究部門 主催

第三回 量子技術講演会 in 名古屋大学

日時 令和 7 年
1 月 9 日（木）13:30 から15:10
（13:15 開場）

場所 名古屋大学
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 3階
ディープテック・シリアルイノベーションセンター ホール
〒464-0814
愛知県名古屋市千種区不老町 B2-4

名古屋大学駅３番出口から徒歩３分

対象 名古屋市近郊の企業様

開催形式 ハイブリッド開催
（会場 + Teamsオンライン）

参加無料 会場参加 50名
（事前申込制）

お問合せ
東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構
名古屋市量子産業創出寄附研究部門
TEL : 052-558-9755
E-mail : qnc_info@mirai.nagoya-u.ac.jp

主催 Q-nc 名古屋市量子産業創出寄附研究部門 Division of Quantum Research for Industry Development, Nagoya City-Endowed

共催 Q-BReD 量子フロンティア産業創出拠点 Quantum-Based Frontier Research Hub for Industry Development

名古屋市量子産業創出寄附研究部門では名古屋地区の企業と大学発の最先端技術との融合により、名古屋市を中心とした東海圏の産業の活性化と持続的な発展に取り組んでいます。
本セミナーは互いのニーズの理解と新たなビジネス創出や課題解決を目指す連続セミナーです。

▶ 第一部　呼吸器再生における間葉系幹細胞を応用した治療細胞の開発

13 : 30 – 14 : 00

講師

東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構
名古屋市量子産業創出寄附研究部門　特任准教授

岩竹真弓　Mayumi IWATAKE

講演概要

2010年代以降、急速に研究が進められてきた再生医療や細胞治療は、今後の医療における新しい領域として成長し続けています。本講演では、臓器損傷の治療を目的とした臨床試験で有効性が示されている「間葉系幹細胞」による呼吸器疾患に対する治療細胞の開発についてご紹介いたします。

▶ 第二部　ARIM次世代バイオマテリアル拠点を活用した生体イメージングの事例

14 : 00 – 14 : 50

講師

東海国立大学機構 名古屋大学量子化学イノベーション研究所　特任教授
量子科学技術研究開発機構（QST）量子生命科学研究所 プロジェクトディレクター

湯川 博　Hiroshi YUKAWA

講演概要

「マテリアル先端リサーチインフラ（ARIM）」では、全国の大学・研究機関が所有する1100件以上の共用設備を用いて産学官問わず、皆様の研究・開発を支援しています。これまでにナノ量子センサなどの量子技術を再生医工学に応用し、細胞の物理化学的パラメーターの計測により、幹細胞や再生細胞の移植前の品質管理や移植後の生体内環境・組織・臓器において診断するための技術創製に取り組んできました。本講演では生体内イメージングを中心に、今後の新たな研究プラットフォームの確立についてご紹介いたします。

▶ 第三部　フリーディスカッション

14 : 50 – 15 : 10

企業の方から提起された問題に対するフリーディスカッションを行い、産学官の知的交流を図ります。特定技術の改善策や新規用途、産学連携のテーマなど企業様の問題意識に合わせて異分野の教員のご紹介や交渉も支援いたします。

参加申込フォームはこちらです

https://forms.office.com/r/5byraRHf3F

主催　Q-nc 名古屋市量子産業創出寄附研究部門 Division of Quantum Research for Industry Development, Nagoya City-Endowed

共催　Q-BReD 量子フロンティア産業創出拠点 Quantum-Based Frontier Research Hub for Industry Development